



とこ えだ しょう
床枝 翔 さん

学童・新メンバー

私は2026年4月から下諏訪町で働き始めるため、3月末に引っ越してきました。きっかけは、松本市の友人から、地域おこし協力隊の募集を教えていただいたことです。それまで地域おこし協力隊の存在も知りませんでしたが、以前から知人を訪ねる際に下諏訪へ立ち寄りたりして、親しみを感じていました。

これまで11年間、学童保育に携わり、さまざまな現場で経験を積んできました。現在は協力隊として、子どもたちの見守りや学習支援、保護者対応、夏休みなどのプログラム企画、事務業務や会議への参加などを行っています。子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを大切にしながら活動しています。

今後については、まず地域や仕事をしっかり学びながら経験を積み、3年後も引き続きこの地域で働きたいと考えています。保護者の皆さんや職員の皆さんに温かく迎えていただいていることに感謝し、その恩返しができるよう精一杯頑張りたいと思います。



はまの
卒隊生 濱野 みのり さん

私は2022年に東京から下諏訪町へ移住しました。夫婦ともに登山が好きで、長野県には以前からよく訪れていました。地域おこし協力隊として地域に馴染みながら、将来的に建築士事務所を開業したいと考えていた中で、下諏訪町の人の温かさに触れ、「ここで暮らしたい」と思い協力隊に応募しました。

現在は空き家を活用して、夫婦で設計事務所を営みながら、1階にシェアキッチン、2階に宿泊施設を運営しています。宿泊施設は下諏訪町での暮らしを体験できる中長期滞在向けの施設です。この場所をきっかけに下諏訪を好きになって移住してくれる方や、シェアキッチンから新しいお店が生まれたらうれしいです。

下諏訪に残った理由は、人の温かさです。開業する際も多くの町民の皆さんに応援していただき、大きな力になりました。これからも移住者と地域の方が自然につながる場所をつくりながら、開業や移住を考えている方にも気軽に訪れてもらえたらと思っています。



いけだ つきね
卒隊生 池田 月音 さん

私は2022年に下諏訪町へ移住し、地域おこし協力隊として3年間活動しました。現在は産業振興課の地域プロジェクトマネージャーとして、引き続き移住促進に携わっています。今後は旧矢崎商店の活用に関わり、様々な関係者間との橋渡し役や施設運営の調整などを担当していく予定です。

下諏訪に残ることを決めた理由は、この町の規模感と人との距離の近さです。自分が考えて行動したことが地域に反映されている実感があり、町の出来事を自然と自分事として考えられるようになりました。

移住促進の仕事を通じて、人と人をつなぐ役割にも大きなやりがいを感じています。これからも下諏訪の魅力を一人でも多くの方に伝えていきたいと思っています。



～下諏訪町の未来を共につくる～

【地域おこし協力隊】ってどんな制度？

地域おこし協力隊は、都市地域から人口減少や高齢化が進む地方に移住し、観光振興や情報発信、子育て支援、空き家活用などを行いながら、その地域への定住・定着を図る国の制度です。

今回の特集では、今年度新しく着任した3名の隊員の紹介に加え、任期終了後も町内で活躍されている2名の卒隊生の「その後の歩み」についてインタビューしました。この活動は国の財政支援（特別交付税措置）を活用し、町の負担を抑えて実施されています。



ふくだ まさし
福田 征志 さん

移住・新メンバー

私は福岡県出身で、下諏訪に来る前は大阪のアウトドアメーカーで広報の仕事をしていました。東京のイベントで下諏訪町のブースを訪れたことがきっかけで町に興味を持ち、その後、地域おこし協力隊に応募しました。最終選考で初めて下諏訪を訪れましたが、一度でこの町が大好きになりました。

現在は移住相談や空き家相談への対応、SNSでの魅力発信を行っています。今後は旧矢崎商店の活用にも携わる予定です。また、将来的には下諏訪でゲストハウスを開業したいと考えており、3年間の任期中に準備を進めていきます。まだ知らないことも多いので、町で見かけたらぜひ気軽に声をかけてください。



ささおか けい
佐々岡 慧 さん

学童・新メンバー

私は今年3月に東京から妻と子ども2人の家族4人で下諏訪町へ移住し、4月から学童クラブで勤務しています。以前は中学校の体育教師として働き、部活動ではバレーボール部の顧問を務めていました。学校の先生から学童での仕事へ変わることに不安はなく、新しい環境で子どもたちと関われることをとても楽しみにしていました。

現在は、子どもたちがのびのびと安心して過ごせる居場所づくりを大切にしています。下諏訪町の学童はすでに素晴らしい場所ですが、さらに子どもたちにとって居心地が良く、保護者の皆さんも安心して預けられる場所にしていきたいと思っています。「学童に行くのが楽しみ」と思ってもらえる環境づくりが目標です。

また、将来は農業にも挑戦したいと考えています。現在は町民菜園で畑を借りて野菜を育てており、いつか自分で育てた野菜を子どもたちに食べてもらえたらうれしいです。

